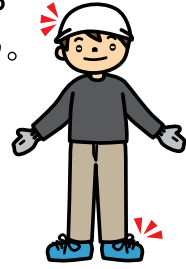


# 風水害のとき

## 避難の注意点

### 動きやすく安全な格好で！

避難するときは、動きやすく安全な服装にしましょう。ヘルメットや防災ずきんで頭を保護しましょう。靴はひもでしめられる底の厚い運動靴を。長靴は浸水が深いと中に水がたまるので動きにくくなります。素足は厳禁です！



### 歩ける深さに注意！

歩行可能な水深は、ひざの高さくらい（約 50cm）です。水の流れが速ければ、20cm 程度でも要注意です！無理をせず、高所で救助を待ちましょう。



### 足元に注意する！

水面下にはマンホールや側溝などの危険があるので、長い棒を杖代わりに突き、確認しながら進みましょう。



### 集団での避難を！

単独行動をせず、集団で避難しましょう。



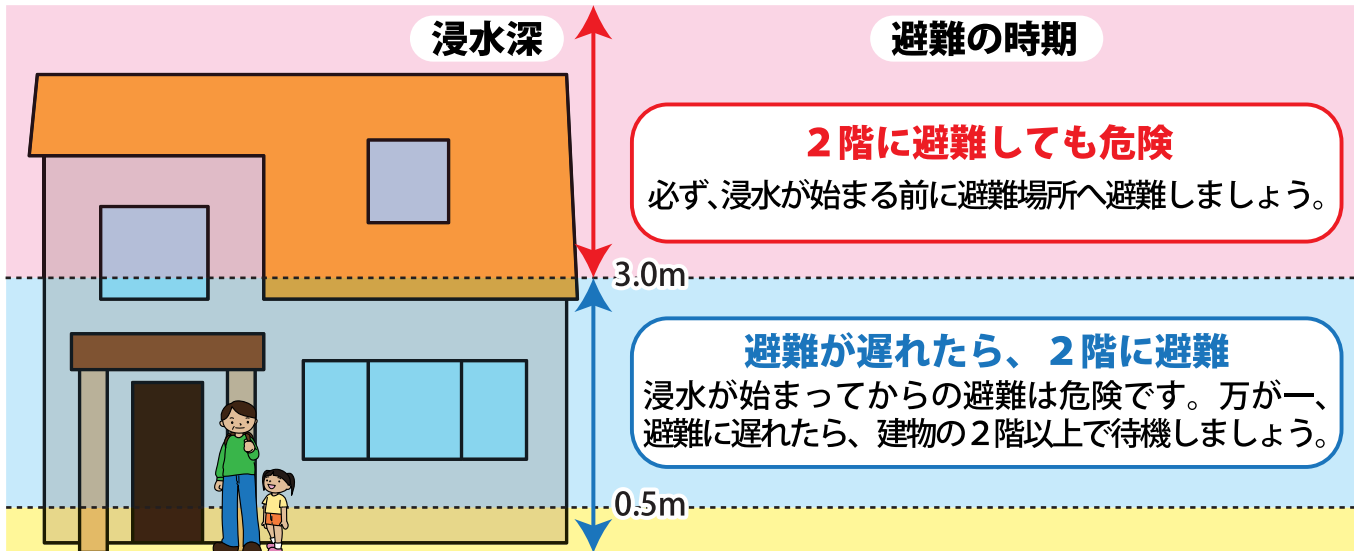
### 車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになるほか、交通渋滞を招きます。また、浸水した場合、水圧でドアが開かなくなる危険もあります。



### 適切な避難の時期を確認しよう

洪水の正しい避難行動は、「**浸水が始まる前に避難する**」ですが、万が一の事態に備え、ハザードマップより自宅の浸水深を確認し、下のイラストから避難を判断しましょう。



### 自宅待機への備え

自宅待機した場合に備え、P12「非常持出品」を参考に、必要なものをそろえておきましょう。

# 土砂災害のとき

## 土砂災害の前ぶれ現象

### 雨に注意

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。

### 前ぶれ現象に注意

前ぶれ現象を察知したときは、土砂災害が発生する可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。

### がけ崩れ



●小石がパラパラ落ちてくる。



●がけから水が湧き出てくる。腐った土の臭いがする。



●斜面のひび割れ、変形がみられる。



### 土石流



●山鳴りがする。



●川の流れが濁り、流木が混ざり始める。



●雨は降り続けているのに、川の水位が下がる。



### 地すべり



●がけや斜面から水が噴き出す。



●地面にひび割れができる。



●沢や井戸の水が濁る。

